

インターンシップ

山口県立山口農業高等学校 環境科学科・参加生徒19名

伊藤 圭吾・(株)アサヒコンサル

1日目は、斜面の調査を行いました。急な斜面に一人立ち、斜面を測り、そこまでの高さをスタッフが測ります。その後、巻尺で横に20メートル離れ、また先ほどと同じことを繰り返します。これを13ヶ所めぐり一日目は終了しました。

作業2日目は家屋に隣接する危険箇所を調査し、測量機を使って世界測地系の座標管理を行いました。昨日は、ほとんど見てばかりでしたが、2日目は二級トランシットを使わせてもらい、設置など細かい作業も一人でやらせて頂いて、とても楽しく作業に取り組むことが出来ました。作業方法はトランシットを設置し、測りたい所に反射鏡を付けた棒を持っていき、トランシットを反射鏡に合わせて測量すると、光の反射により距離と高さが自動で送られてくるというもので、プリズムといいます。

3日目はものすごい森の中に入っていました。作業方法は、トランシットのなかに昨日行ったような作業の座標データが入っており、それらを復元し、角度、距離を出します。復元したら自動で機械が動きまわります。そして距離が指した場所へ行き、棒を刺します。この作業を18ヶ所行い終了しました。とても短い間でしたがためになることが多く、とても充実した3日間でした。



木原 大輔・(株)リクチコンサル
初日の実習場所は山口市徳地引谷地内というところで、路線測量という種類の、中心点測量という測量の手伝いをしました。中心点測量では横断測量のための点をおいていくという作業でした。自動レベルを使わせていただいたり、測量はチェックをすることが大切で、最低2回はするなど、たくさんの方を教えていただきました。

ことが学べてよかったですし、とてもいい経験を積むことができました。また、これを今後の就職活動を行う際に生かしていこうと思っています。そして、自分に本当に合っているか、または合っていないのかをよく考えて、栗原さんのおっしゃられた通り、長く続けることができる職に就けるよう頑張ろうと思います。

山口県立田布施農工高等学校 環境土木科・参加生徒22名

林 祐太・(株)ソイル・ブレーン



1日目は、旧下松清掃工場跡地での土壌汚染調査でした。まず電動ビックでアスファルトに穴を開け、そこからダブルスコップで穴を掘って土試料の採取をしました。どちらの道具もはじめて見るものですが、丁寧に一つずつやり方やコツを教えてくださったおかげで、なんとか採取することができました。土試料採取後は、掘った穴を埋め戻し、レミフアルトで固めて元の状態に戻しました。この際も、現状戻しが基本であるなどを教えていただき、目の前で見えていることだけが仕事ではなく、その前後の動きが重要であることがよく分かりました。

2日目は、富田中学校の近くで街路築造工事をするための砂置換法による密度試験をしました。現場密度測定器という機器を使い、実験室ではなく現場で行われました。実験の仕方やデータシートの記入法から計算方法まで詳しく教えていただき、よく理解することができました。2日間の実習を通して、土木に関わる仕事の大変さや大切さがよく分かりました。分からないことが多く、身のこなしができていない自分にも気づきました。私は、高校を卒業したら、就職したいと考えています。そのときに向けて、もっともつと勉強し、資格を多く取得して、少しは戦力にな

2日目はまず長門に行き、台風の被害にあった現場を見に行きました。下の土が流されてアスファルトがボコボコになっており驚きました。次に訪れた現場は、川の増水のため道路3分の1ぐらいが崩れていました。その現場に行く途中にも、車の中から色々な被害にあっている場所を見て、災害があるとなんか多くの被害があるんだなと思いました。午後からは地盤調査の動的貫入試験をさせていただき、2日目の最後はドローンを使わせていただきました。そのドローンは飛んでいてもGPSで固定されるので、私にも簡単に動かせました。ドローンで写真を上空から撮って、それをパソコンで三次元の図にしたりして、こんなことも出来るんだなと思いました。



3日目は、1日目に行った現場と同じ所に行き、縦断測量というのを手伝いました。午後の最後は横断測量も少しだけ見せていただきました。3日間で本当に多くのことを学びました。そして、自分はまだまだ何も知らないんだと改めて感じ、もっと勉強をして頑張っていきたいと思いました。

重富 一磨・シマダ(株)

今回、現場実習に行っていたのが、どの現場も自分が思い描いていた工事という想像をはるかに超えていたということ。今まで見るだけだったものも、実際に体験することのできない事がたくさんありました。

1日目は、私は長門市俵山に行きました。そこで見せていただいた施工計画書の書類の多さに、一つの工事をすると、こんなに



れる人材になっていきたいと思っています。

原田 優希・(株)高須組

1日目は、内海中部地区水域環境保全創造工事の現場に連れて行ってもらいました。魚やナマコを増やすことを目的として魚礁を海に入れる工事で、魚礁の材料や大きさ、形状等細かいところまで業者の方と確認し、工事は効率的に進められていました。魚礁を海に沈めるのは、潮流や地形を考慮してGPS測量によって割り出された場所へのクレーンによる設置がなされています。また、早朝・夕方方の作業における騒音対策がしっかりと行われていました。土木工事という、ざっくりしたイメージを持っていたのですが、たくさんの方に配慮されていることに驚きました。また正確に無駄なく作業を進めることの大切さがよく理解できました。

2日目は、周南市銀南街の市道銀南街線道路整備工事の現場でした。配管の破損部分の修繕から埋め戻しまでをされています。工事現場内にはスパーの建設予定地もあり、市道の整備がまちづくりと関連していることがよく分かりました。その予定地では測量をさせていただきました。普段平坦な土地でしか測量したことがないため、実際の現場での据え付けはなかなかうまくいかず、とても時間がかかってしまいました。が、「あせらないでいよ」と優しく声をかけてくださったり、アドバイスをいただいたりして何とか据え付けられました。2日間の、たくさんの方を教えていただきました。土木の技術的なことはもちろんですが、何より社員の方々が大変な中でも楽しく働いていらっしやる様子に印象に残っています。私も将来、皆様方のように「責任感とやりがいを持って仕事ができ

なに必要なのかと驚きました。でも、改めて思えば安全、工程、品質など、なくてはならない書類ばかりなので、こういう書類の必要さが分かりました。2日目は、生コンクリート工場へ行きました。ここでは、生コンクリートとその製品を造っていました。製品は、日頃から良く見かけるU字溝やL字型擁壁、消波ブロックなどがありました。生コンクリートを製造するところでは、そのスケールの大きさに驚きました。



3日目は、山口市佐山の現場へ行きました。ここでは、舗装前に行うCBR試験を行っていました。CBR試験は、路盤や路床の支持力を調べるものですが、かなり深くまで掘っていたので重要な試験なのだと感じました。舗装作業でアスファルトを実際に敷くところを見たことがあまり無かったので良い機会になりました。その後、大歳小学校に行き溝の測量を行いました。測量を行う理由は、溝の高さが規格内かどうかを調べるもので、重要な作業をさせていただいているのだと感じました。3日間得たこと、教わったことを今後の自分活かしていきたいと思っています。

山口県立岩国工業高等学校 都市工学科1年・参加生徒35名

田村 紀人・(株)藤川興業所

最初に行った現場は自宅から近い場所で、歩道をつける工事でした。実際にその道をとても不便に感じていたので、とてもありがたかったです。担当の小野さんには忙しい中、トランシットやレベルの使い方や学校とは少し違った方法で教えてもらいました。現場はとても寒く、休まず働いている人たちを見て、仕事の厳しさを感じました。小野さん

らしいな」と思いました。

奥本 翔稀・(株)勝井建設

初日は、まず本社で安全指導をしていただき、建設現場では作業者の命を最優先して仕事をすることを学びました。その後、現場に行き説明を受けました。発電所建設工事はダム建設と平行して造られており、勝井建設以外の会社も現場に入り、一つの構造物を施工していることがわかりました。午後からは小学生に対して説明するときを使う発電所の25分の1スケールの模型づくりをしました。墨出し作業では直角を出すのが難しく、何度もやり直し、担当の方に迷惑をかけてしまいました。墨出し作業は1ミリでも間違えると、躯体作りでは大きな誤差になることと、実際に現場で墨出し作業をする人の凄さを知りました。

2日目は、現場に行って、エアードの岩盤清掃とオートレベルでの測量をやらせていただきました。自分のために仕事を用意していただき、とても嬉しかったです。午後からは、初日と同じように墨出しを行った後、ノコギリでベニヤ板を切る作業をしました。なかなかコツがつかず時間がかかってしまい、完成させることはできませんでした。2日間の現場見学を経て思ったことは、どの作業を行うにしても資格が必要であるということでした。勝井建設の方々から、たくさんある資格の中でも土木施工管理技士は将来役立つと教えていただきました。他にもいろいろ取得について教えていただき、今後の資格取得に向けて意欲がわきました。学校生活では今回の経験を生かし、勉強と資格取得、そして部活動にも励んでいきたいと思っています。



は、この仕事はつらいけれど何かを造った時の達成感はとてもいいものだ話してくれました。3日目は、災害の現場に連れて行ってもらい、土木会社が地域のために貢献してくれていることを知りました。今回のインターンシップで仕事の大切さや厳しさを知ることができました。



堀内 凌佑・(株)ミヤベ

最初は、土木と建築の違いがいまひとつ分からなかったのですが、今回のインターンシップで理解しました。株式会社ミヤベで土木の魅力を感じました。土木というのは、危なくて、大変で、きつい仕事だということも強かったのですが、ミヤベの皆さんは、明るくて、優しい方ばかりだったので仕事はとても楽しいものだと思います。実際に現場に行くとみると、危険で大変なところは多々あると感じましたが、とてもやりがいがあり、できあがったときには、大きな達成感があるのではと思います。

3日間の中で、一番印象に残っているのはトンネルをつくる事は難しく、昔は命を落とす人がいたなど、命がけだということが、完成したときの達成感や素晴らしいものだと感じました。今この3日間で、土木についてたくさん



では、造る技術や機械も発達し、事故は少なくなつたもの、造ることは大変だと思います。しかし、造り終えたら地面にも載るし、みんなに感謝されるし、やりがいのある仕事だと思います。

平成27年インターンシップ実施企業48社 (参加生徒数 76名)

- 2月18・20日
 - 岩国工業高等学校 都市工学科
 - (株)昭シ
 - (株)大昭シ
 - (株)藤川興業所
 - 八木興業(株)
 - 日栄興業(株)
 - (株)ボスコ
 - (株)大島組
 - 鍾カシワバラ・コーポレーション
 - 鍾野建設(株)
 - (株)ミヤベ
 - 勝井建設(株)
 - 安本建設(株)
 - (株)中工務店
 - (株)にしき
 - 西山建設(株)
 - (株)中村組
 - (株)エムエスシー
 - 鍾錦測量事務所
- 2月25・28日
 - 山口農業高等学校 環境科学科
 - 石山建設(株)
 - 山口建設(株)
 - シマダ(株)
 - シマダ(株)
 - シマダ(株)
 - サン・ロード(株)
 - 防長建設工業(株)
 - 藤本工業(株)
 - 澤田建設(株)
 - (株)アサヒコンサル
 - (株)リクチコンサル
 - (株)山口建設コンサル
 - (株)三建調査設計
 - 田中技研コンサル
- 10月21・22日
 - 田布施農工高等学校 環境土木科
 - 井森工業(株)
 - 大池組
 - トオル電気(株)
 - 好村建設(株)
 - 末長建設工業(株)
 - (株)仲合
 - 川畑建設(株)
 - (株)高須組
 - 共同産業(株)
 - 国益建設(株)
 - ユタカ工業(株)
 - 勝井建設(株)
 - イワキ測量設計(株)
 - 南泉土木コンサル
 - (株)異設計コンサル
 - (株)ソイル・ブレーン